

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	朝日医療専門学校広島校
設置者名	学校法人 朝日医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	鍼灸学科 昼間部 午前コース	夜・通信	11 単位	9 単位	
	鍼灸学科 昼間部 午後コース	夜・通信	11 単位	9 単位	
医療専門課程	柔道整復学科 昼間部 午前コース	夜・通信	11 単位	9 単位	
	柔道整復学科 昼間部 午後コース	夜・通信	11 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://hrs.asahi.ac.jp/application/current/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	朝日医療専門学校広島校
設置者名	学校法人 朝日医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

主たる事務所において情報公開請求により開示する。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	協同組合 代表	2023/7/1- 2025/6/30	経営計画の策定
常勤	医療法人 理事長	2023/7/1- 2025/6/30	経営計画の策定
非常勤	本学園 元教員	2023/7/1- 2025/6/30	経営計画の策定
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	朝日医療専門学校広島校
設置者名	学校法人 朝日医療学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>前年度末に授業構成および科目担当者を割り振り、学習効率を重視して履修時期と学習内容および学習目標を定めて各学科で協議のもと作成。新年度初めにホームページで公開し、年度初めのガイダンスで説明。</p> <p>1) 学校ホームページにてシラバス(鍼灸学科・柔道整復学科)を公表 シラバス内に各科目の担当者・単位数・履修期・授業方法・講義内容・目的・成績評価方法・講義計画を記載</p> <p>2) 学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 3 ページ「7. 試験」について記載。</p> <p>同様の内容を学生便覧 20 ページ「朝日医療専門学校広島校学則(全文内)」にも記載。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://hrs.asahi.ac.jp/application/current/">https://hrs.asahi.ac.jp/application/current/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>欠課回数が講義科目で 3/1 以下、実技科目で 5/1 以下の学生において定期試験を実施。各定期試験で全科目の試験を行い、各期末に成績判定会議および年度末に単位付与会議を実施したのち、単位付与する。定期試験では正答率 6 割以上を合格とし、6 割未満は再試験を実施して成績評価する。各試験では講義内容をもとに、要点を中心に出题する。</p> <p>また、成績評価において評価点が 100 点中、80 点以上で「優」、70 点以上 80 点未満で「良」、60 点以上 70 点未満で「可」、60 点未満で「不可」としている。</p> <p>学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 4 ページ「8. 成績評価 (1) 科目ごとの成績評価について」記載。</p> <p>同様の内容を学生便覧 20 ページ「朝日医療専門学校広島校学則(第 12 条, 第 30 条, 第 31 条, 第 32 条)」にも記載。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1) 当該学年度履修科目点数の合計を平均し算出 年度末に担任が行う面談等により、学習時間の配分などを指導。</p> <p>2) 学校ホームページにて客観的な指標を公表 学生便覧 5 ページ「8. 成績評価 (2) 各学年での成績分布について」記載。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://hrs.asahi.ac.jp/application/current/">https://hrs.asahi.ac.jp/application/current/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「生命の尊さと人の尊厳を重んじることを基本とし、人間の痛みや苦しみを分かち合える豊かな人間性を有していること。」「専門的知識・技術に基づき、疾病の治療から身体機能の回復、維持・向上を図り社会復帰や社会参加を目指す人々を支援する能力を有していること。」「広い視野を持ち、保健医療システムの中で医師や他の保健医療従事者と連携しつつ、自らの役割と責任を担う心構えを身につけていること。」「科学的、合理的なものの見方や考え方を習得するとともに自主・自立・自律の精神に富んだ主体的な判断力を有していること。」これらを基本とし、各学科すべての科目が履修され、すべての単位が付与された後、最終の単位付与会議にて卒業資格を確認した上で、卒業式において卒業を認定する。</p> <p>学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 5 ページ「9. 進級及び卒業の基準」について記載。</p> <p>同様の内容を学生便覧 23 ページ「朝日医療専門学校広島校学則 (第 34 条, 第 35 条)」にも記載。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://hrs.asahi.ac.jp/application/current/">https://hrs.asahi.ac.jp/application/current/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	朝日医療専門学校広島校
設置者名	学校法人 朝日医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023">https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023">https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023</a>
財産目録	<a href="https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023">https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023</a>
事業報告書	<a href="https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023">https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023">https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/?category=1&amp;era=2023</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 午前	2670 単位時間/単位	1650 単位時間/単位	200 単位時間/単位	820 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2670 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		73人	0人	8人	5人	13人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 午後	2670 単位時間/単位	1650 単位時間/単位	200 単位時間/単位	820 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2670 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		76人	0人	8人	5人	13人	

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要） 前年度末に授業構成および科目担当者を割振り、学習効率を重視して履修時期と学習内容および学習目標を定めて各学科で協議のもと作成。新年度初めにホームページで公開し、年度初めのガイダンスで説明。</p> <p>1）学校ホームページにてシラバス（鍼灸学科）を公表 シラバス内に各科目の担当者・単位数・履修期・授業方法・講義内容・目的・成績評価方法・講義計画を記載。 2）学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 3 ページ「7. 試験」について記載。</p> <p>同様の内容を学生便覧 20 ページ「朝日医療専門学校広島校学則（全文）」にも記載。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 欠課回数が講義科目で 3/1 以下、実技科目で 5/1 以下の学生において定期試験を実施。各定期試験で全科目の試験を行い、各期末に成績判定会議および年度末に単位付与会議を実施したのち、単位付与する。定期試験では正答率 6 割以上を合格とし、6 割未満は再試験を実施して成績評価する。各試験では講義内容をもとに、要点を中心に出题する。 また、成績評価において評価点が 100 点中、80 点以上で「優」、70 点以上 80 点未満で「良」、60 点以上 70 点未満で「可」、60 点未満で「不可」としている。</p> <p>学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 4 ページ「8. 成績評価（1）科目ごとの成績評価について」記載。</p> <p>同様の内容を学生便覧 20 ページ「朝日医療専門学校広島校学則（第 12 条，第 30 条，第 31 条，第 32 条）」にも記載。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 【進級について】 原則、全科目において各定期試験、臨時試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案した成績評価に基づき、認定会議の審議を経て決定する。</p> <p>【卒業について】 各学科すべての科目が履修され、すべての単位が付与された後、最終の単位付与会議にて卒業資格を確認した上で、卒業式において卒業を認定する。</p> <p>学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 5 ページ「9. 進級および卒業の基準」について記載。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） 担任制度、補習、ゼミの開講など</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
53人 (100%)	2人 ( 3.8%)	35人 ( 66.0%)	16人 ( 30.2%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院、鍼灸接骨院、病院、障害者支援施設、教育施設、福祉・美容・スポーツ業界、一般企業			
(就職指導内容) 全体での就職（活動）に関する講習会を複数回実施し、その後は個人面談を随時行う。希望する分野・業界を絞り込み、希望に沿う求人先を選定し随時斡旋する。			
(主な学修成果（資格・検定等）) はり師、きゅう師、NSCA-CPT、初級障がい者スポーツ指導員			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
159人	5人	3.1%
(中途退学の主な理由) 成績不良、将来像の変更、体調不良 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任等による個人面談、保護者との連絡および面談、補習および課題による学習指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 午前	2770 単位時間/単位	1510 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	1020 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2770 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		73人	0人	7人	10人	17人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 午後	2770 単位時間/単位	1510 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	1020 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2770 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		41人	0人	7人	10人	17人	



<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要） 前年度末に授業構成および科目担当者を割振り、学習効率を重視して履修時期と学習内容および学習目標を定めて各学科で協議のもと作成。新年度初めにホームページで公開し、年度初めのガイダンスで説明。</p> <p>1）学校ホームページにてシラバス（鍼灸学科）を公表 シラバス内に各科目の担当者・単位数・履修期・授業方法・講義内容・目的・成績評価方法・講義計画を記載。 2）学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 3 ページ「7. 試験」について記載。</p> <p>同様の内容を学生便覧 20 ページ「朝日医療専門学校広島校学則（全文）」にも記載。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 欠課回数が講義科目で 3/1 以下、実技科目で 5/1 以下の学生において定期試験を実施。各定期試験で全科目の試験を行い、各期末に成績判定会議および年度末に単位付与会議を実施したのち、単位付与する。定期試験では正答率 6 割以上を合格とし、6 割未満は再試験を実施して成績評価する。各試験では講義内容をもとに、要点を中心に出题する。 また、成績評価において評価点が 100 点中、80 点以上で「優」、70 点以上 80 点未満で「良」、60 点以上 70 点未満で「可」、60 点未満で「不可」としている。</p> <p>学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 4 ページ「8. 成績評価（1）科目ごとの成績評価について」記載。</p> <p>同様の内容を学生便覧 20 ページ「朝日医療専門学校広島校学則（第 12 条，第 30 条，第 31 条，第 32 条）」にも記載。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 【進級について】 原則、全科目において各定期試験、臨時試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案した成績評価に基づき、認定会議の審議を経て決定する。</p> <p>【卒業について】 各学科すべての科目が履修され、すべての単位が付与された後、最終の単位付与会議にて卒業資格を確認した上で、卒業式において卒業を認定する。</p> <p>学校ホームページにて学生便覧を公表 学生便覧 5 ページ「9. 進級および卒業の基準」について記載。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） 担任制度、補習、ゼミの開講など</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	0人 ( 0%)	22人 ( 62.9%)	13人 ( 37.1%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院、鍼灸接骨院、病院、障害者支援施設、福祉・美容・スポーツ業界、一般企業			
(就職指導内容) 全体での就職（活動）に関する講習会を複数回実施し、その後は個人面談を随時行う。 希望する分野・業界を絞り込み、希望に沿う求人先を選定し随時斡旋する。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 柔道整復師、機能訓練指導員、NSCA-CPT、初級障がい者スポーツ指導員			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
125人	10人	8.0%
(中途退学の主な理由) 成績不良、将来像の変更、体調不良 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任等による個人面談、保護者との連絡および面談、補習および課題による学習指導		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
鍼灸学科	300,000円	1,320,000円	120,000円	休学中の在籍料
柔道整復学科	300,000円	1,320,000円	120,000円	休学中の在籍料
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項） <b>Wライセンスサポート制度 - 返還不要の給付型奨学金 -</b> （鍼灸学科と柔道整復学科を同時または連続して在籍し、学修状況が良好な場合に適用） 受験料 25,000円免除，入学金 300,000円免除，年間 400,000円の給付（3年間で最大 1,200,000円まで給付）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ <a href="https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/">https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務状況、法令順守、社会・地域貢献について現状報告し、課題及び改善方策をもとに評価し、公表とともに適宜改善を行い運用する。 (主な評価項目) 教育課程内容や授業を行う講師の人数や個性、地域住民や関連業団との関わり、学生による学校評価アンケート結果や授業評価アンケート結果とその対応、入学率や入試方法、就職状況を評価する。 (委員選出区分) 柔道整復師又は鍼灸師関連団体役員、本校卒業生、本校に在籍若しくは卒業した学生の保護者・保証人、高等学校校長又は高等学校校長経験者として本校校長が指名した者を各最低1名、合計4名を選出する。 (評価結果の活用) 評価項目に対して評価結果および意見・指導は、次回の学校関係者評価委員会までに課題箇所については対応策の報告を行い、指導箇所については改善を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 広島県柔道同整復師会 理事	2024年4月1日 ～2025年3月31日	企業・業界団体
広島県立安芸南高等学校 元校長	2024年4月1日 ～2025年3月31日	高等学校校長経験者
広島テレビ放送株式会社 総務局	2024年4月1日 ～2025年3月31日	学生の保護者
己斐なかむら鍼灸接骨院 院長	2024年4月1日 ～2025年3月31日	本校卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ <a href="https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/">https://hrs.asahi.ac.jp/disclosure/</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ(教育関係・在校生) <a href="https://hrs.asahi.ac.jp/?m=application/current">https://hrs.asahi.ac.jp/?m=application/current</a> にて公表 学校ホームページ(情報公開) <a href="https://hrs.asahi.ac.jp/?m=about/disclosure/index">https://hrs.asahi.ac.jp/?m=about/disclosure/index</a> にて公表
---

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H134310000318
学校名 (〇〇大学 等)	朝日医療専門学校広島校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 朝日医療学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		31人	30人	32人
内 訳	第Ⅰ区分	－	15人	
	第Ⅱ区分	14人	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分			
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				32人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。